

日商簿記検定の持ち物チェックシート

★必要なもの

<input type="checkbox"/> 受験票	紛失した時のことを考えて、「試験会場」と「受験番号」を控えておきましょう。試験日当日に万が一忘れた場合は、試験会場で再発行してもらえるので、すぐに試験官に相談しましょう。
<input type="checkbox"/> 身分証明書	氏名・生年月日・顔写真の3つが確認できるもの（運転免許証、パスポート、学生証など）でなければいけません。 上記の条件を満たす身分証明書を持っていない場合は、試験前に受験する商工会議所に相談しましょう。
<input type="checkbox"/> 電卓	メインの電卓だけでなく、予備（安い電卓でOK）も持っていくと安心です。
<input type="checkbox"/> 筆記用具	シャープペン（または鉛筆）は2本以上、消しゴムは2個以上持っていくと安心です。使い慣れたものを用意しましょう。 シャープペンを使う方は「替え芯」の準備もお忘れなく。
<input type="checkbox"/> 腕時計	時計がない試験会場があります。携帯電話を時計代わりに使うことはできませんので、腕時計を忘れずに持って行きましょう。
<input type="checkbox"/> 教材	たくさん持っていく必要はありません。手持ちの教材の中から1冊だけ選んで持って行きましょう。 間違いノート（まとめノート）を作った方は、その1冊だけでOKです。

★人によっては必要なもの

<input type="checkbox"/> スリッパ	学校など、土足禁止の試験会場の場合は必要になります。予め確認しておきましょう。
<input type="checkbox"/> ひざ掛け or 羽織るもの	試験会場は寒いことが多いので、冷え性の方はひざ掛けや羽織るものを用意しておきましょう。指先の冷えにはカイロが効果的です。

★番外編

<input type="checkbox"/> 自分を支えてくれた人への感謝の気持ち
<input type="checkbox"/> 最後まで諦めない強い心

【試験本番のお作法コラム】

試験開始の合図とともに問題を解き始め…てはいけません。まず、全ての問題と答案用紙（←意外に重要）をチェックし、気になるところ・注意すべきところに印をつけましょう。

次に、「問題を解く順番」と「おおまかな時間配分」を再確認しましょう。基本的には、簡単 or 得意な問題から順番に解きます。

この時点で、周りからは電卓の音が聞こえてきますが、焦ってはいけません。「最初の5分の準備が大事なのに…みんな分かってないなあ」と心のなかでつぶやいて、目を閉じて大きく深呼吸をしましょう。深呼吸を何度か繰り返し、気持ちを落ち着かせたら解答スタートです。

見たこともないような問題が出題されたら、すぐに部分点狙いに切り替えましょう。「難しい問題は配点が甘くなる」という特徴がありますので、最後まで諦めずに分かるところから解答欄を埋めていきましょう。

最後の10分～15分は見直しに使いましょう。試験本番では、普段では考えられないような勘定科目や金額のケアレスミスをしてしまいますので、最後の見直しが非常に効果的です。